

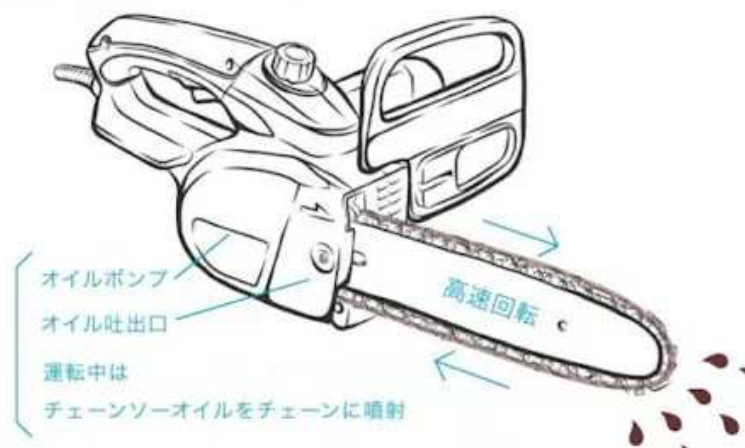
矢作川流域圏懇談会資料

第70回山部会WG



根羽村森林組合

チェーンソーの仕組み



金属製のチェーンの外側に刃が装着されており、刃の摩耗防止、軸など可動部分の潤滑のため、運転時は常にチェーンソーオイルをチェーン部分に噴射しています。

チェーンは木を伐採する際に高速で回転し、遠心力等でオイルが飛び散ってしまうため、常に新しいオイルを刃に供給しなければ焼き付き、刃の摩耗など動作不良を起こします。

このような構造上、チェーンソーオイルは土壤に散布されることになります。



プロセッサ（造材機械）は更に大量のオイルを使用

全ての現場で生分解性オイルを使用



現場確認の様子

グループ主体 管理マニュアル	
6 「オイル・燃料の管理及び林業薬剤管理マニュアル」	
地域の環境保全及び生物多様性の維持・増進のためFM森林における林業活動に用いるオイル・燃料及び林業薬剤について「オイル・燃料の管理マニュアル」及び「林業薬剤管理マニュアル」を定めた。	
オイル・燃料の管理マニュアル	
制定 平成29年5月13日 施行 平成29年 月 日	
1 オイル・燃料の管理指針	作業現場で燃料等の油類が漏出した場合、土壌、水質をはじめ、生物生態等に多大な影響を及ぼすことから、オイル・燃料等の油種の取扱・保管は慎重に行う。
2 適用	本マニュアルは、根羽村SPM森林認証協議会（以下「協議会」という）の会員及び協議会のFM森林の施業受託者が守らなければならないことを定める。会員及び施業実施者は、このマニュアルを守らなければならない。本マニュアルは、会員及び施業実施者に適用する。
3 オイル・燃料の選定	① オイルや燃料は用途にあった適正なものを使用すること。 ※ オイルや燃料は、必ずしも生分解性である必要はないが、生分解性オイルが望ましい。

オイル・燃料の管理マニュアル

根羽村森林組合では、全ての現場で生分解性のチェーンソーオイルを使用し、土壌・河川汚染の防止に努めています。

また、森林認証のなかで「巡視記録簿」「施業完了確認書」をもとにオイル漏れ等がないか現場確認をし、「オイル・燃料の管理マニュアル」による取り扱い方法の指導を行っています。
(根羽村森林組合では、年間60～80缶のチェーンソーオイルを使用しています。)

森と海をつなぐ取り組み

矢作川流域をモデルとした、資源循環のシステムづくり



生分解性オイルを使用



日間賀島で廃食用油を回収

矢作川流域周辺図



産地表示ありの生分解性オイル誕生

全国初の取り組み



中部エコバイオ合同会社が製造販売。

今後、根羽村森林組合では順次この新商品に使用を切り替えていきます。

恵南森林組合、豊田森林組合、岡崎森林組合にも中部エコバイオ合同会社より同商品が寄贈されました。

企業との連携による森づくり

一般社団法人more treesと「森林保全及び地域活性化に関する協定」を締結



協定式の様子
令和5年11月27日

一般社団法人**more trees**（モア・トゥリーズ）は、音楽家・坂本龍一が創立した森林保全団体です。地域との協働で森林保全を行う「**more trees**の森」の展開、国産材を活用した商品やサービスの企画・開発、セミナーやイベントを通じた森の情報や魅力の発信など、「都市と森をつなぐ」をキーワードに「森と人がずっとともに生きる社会」を目指したさまざまな取り組みを行っています。

今後は**more trees**と連携して、根羽村での「多様性のある森づくり」プロジェクトにご賛同いただいた企業などと協働で森づくりを進めていきます。また、さまざまなステークホルダーとのパートナーシップを構築しながら、森林の多面的機能の発揮、地域における関係人口の創出にも取り組んでいきます。

「シチズンの森」が始動しました

シチズン時計株式会社と連携協定を締結



令和6年6月6日にシチズン時計株式会社は、長野県にグループ会社及び生産拠点があるというご縁もあり、more trees様ご協力のもと根羽村に約1haの「シチズンの森」を設立し、協働で根羽村の森づくりに取り組んでいただくことになりました。

今後、根羽村の植生にあった樹種を選び、令和6年秋より広葉樹を中心とした植林を行う予定です。

活動の様子



協定式の様子
鈴木専務、大久保村長、佐藤社長、水谷事務局長



役職員の皆さんと記念撮影

活動の様子②



佐藤社長と大久保村長で記念植樹



役職員の皆さんと記念植樹